

政策のための科学

受講手続き・講義概要

京都大学学際融合教育研究推進センター
政策のための科学ユニット

内容

1. 受講手続き

- プログラム参加申し込み方法
- プログラム履修登録のプロセス
- 講義概要

2. 2つのコース

- 学際プログラム履修コース
- 研究プロジェクト修了コース
- 政策のための科学科目一覧
- 講義
- 通年・前期開講科目一覧

受講手続き

プログラム参加申し込み方法

1. 願書入手

以下のURLからダウンロードしてください。

<http://www.stips.kyoto-u.ac.jp/submission>

2. 願書を提出

必要事項、「本プログラムへの志望動機，および将来のキャリアパスへの展望」を記入して、以下のURLからアップロードしてください。

<http://www.stips.kyoto-u.ac.jp/submission-upload>

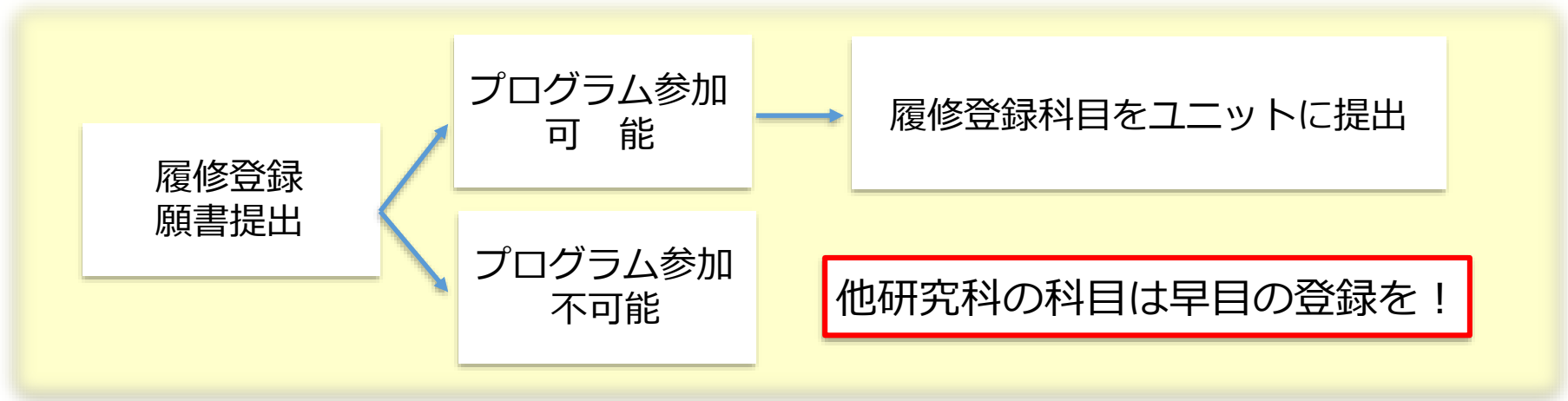
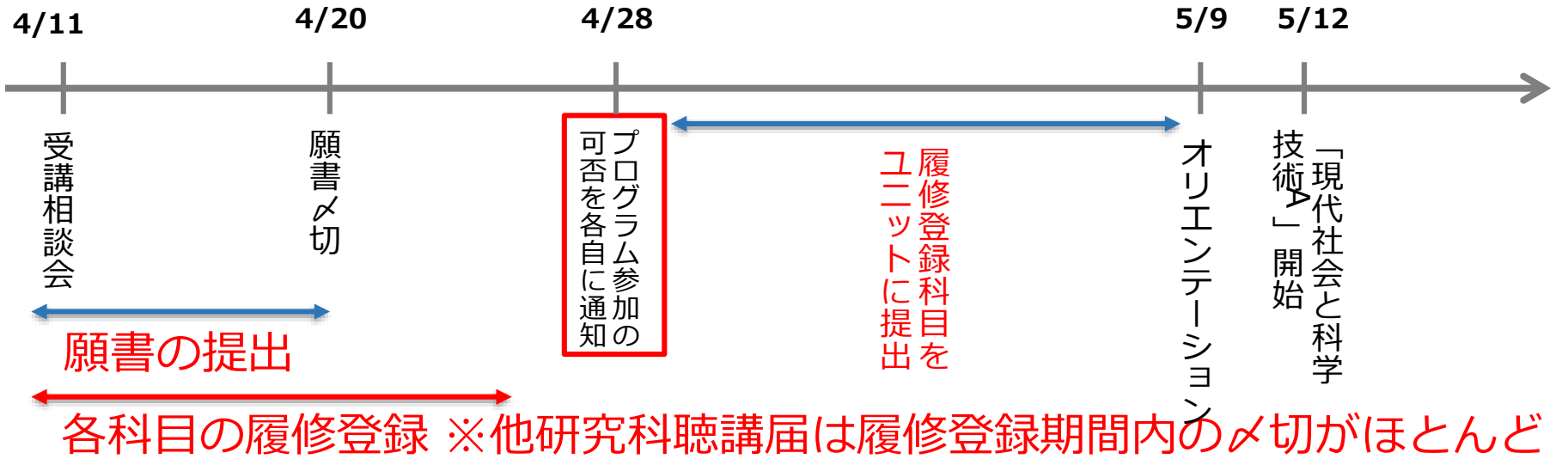
締切り **2021年4月20日（水）**

3. 参加の可否

4月28日（木）までにプログラム参加の可否をお知らせ致します。

※ プログラム参加希望者が多数の場合は、面接を実施する可能性があります（後日連絡）

プログラム履修登録のプロセス



講義概要

2つのコース

学際プログラム履修コース

政策知を習得

研究プロジェクト修了コース

しっかり政策分析

修了認定	必修科目(2単位)を含む8単位を取得	- 研究指導を受け、論文を執筆 - 必修科目(6単位)を含む14単位を取得
受講条件	志望動機の提出	志望動機の提出
願書提出	4月・9月	4月
履修期間	1～2年	1年半～2年
特 徴	多分野の講師陣からなる、リレー講義（現代社会と科学技術B）を中心としたコースワークで、政策知を習得	政策知の習得にくわえて、研究プロジェクトにより、政策分析について理解を深めるとともに、研究論文を執筆
修 了 証	ユニット長 による認定証	京大・阪大総長連名 による認定証

学際プログラム履修コース

- 様々な分野の講師陣からなる、リレー講義（現代社会と科学技術B）を中心としたコースワークで、政策分析に必要な学際的知見を身に着けることを目指す
- 修了要件：入門必修科目の『現代社会と科学技術B』（2単位）を含む、計8単位を取得すること

➤ コースワークのモデル

科目（科目カテゴリー）		単位数
入門必修科目	現代社会と科学技術B	2単位
選択科目 I	現代社会と科学技術A	1単位
選択科目 I	科学技術イノベーション政策特別演習	1単位
選択科目 I	科学技術イノベーション政策総合演習 （サマーキャンプ）	2単位
選択科目 I ・ II よりいずれか1科目		2単位
合計		8単位

研究プロジェクト修了コース

- コースワークにくわえて、研究プロジェクトを進めることで、政策分析についてより深く理解するとともに、研究論文の執筆を目指す
- 修了要件：3つの必修科目（6単位）を含む、計14単位を取得すること

➤ コースワークのモデル

科目（科目カテゴリー）		単位数
入門必修科目	現代社会と科学技術B	2単位
必修科目	科学技術コミュニケーション演習	2単位
連携必修科目	研究プロジェクト	2単位
選択科目Ⅰ	現代社会と科学技術A	1単位
選択科目Ⅰ	科学技術イノベーション政策特別演習	1単位
選択科目Ⅱ	科学技術イノベーション政策総合演習	2単位
選択科目Ⅰ・Ⅱよりいずれか2科目		4単位以上
合計		14単位以上

政策のための科学科目 一覧①

区分	科目名	期	主担当教員 (登録取扱部局)	単位
入門必修科目	現代社会と科学技術B	後期	川上教授ら (医学研究科)	2
必修科目	科学技術コミュニケーション演習	通年	川上教授ら (医学研究科)	2
連携必修科目	研究プロジェクト	通年	川上教授ら (医学研究科)	2
選択科目 I (基軸科目群)	現代社会と科学技術A	前期	川上教授ら (医学研究科)	1
	政策のための研究方法論	前期	ベッカー教授 (医学研究科)	2
	現代規範理論	前期	森川教授 (公共政策大学院)	2
	共生社会環境論演習4A	前期	広井教授 (人間・環境学研究科)	2
	科学技術イノベーション政策特別演習	夏期集中	川上教授ら (医学研究科)	1
	科学技術と社会に関わるクリティカルシンキング	後期	伊勢田准教授 (文学研究科)	2
	科学的可視化	後期	小山田教授 (人間・環境学研究科)	2
	共生社会環境論演習3B	後期	佐野教授 (人間・環境学研究科)	2
	共生社会環境論演習4B	後期	広井教授 (人間・環境学研究科)	2
	公共政策論 I	後期	佐野教授 (人間・環境学研究科)	2

赤字：プログラム提供科目 緑セル：大学院横断教育科目

政策のための科学科目 一覧②



区分	科目名	期	主担当教員（登録取扱部局）	単位
選択科目Ⅱ（基軸科目群）	経済原論Ⅰ（応用ミクロ経済学）	前期	伊藤教授（農学研究科）	2
	情報社会論	前期	大手教授ら（情報学研究科）	2
	デジタルガバメント論	前期	岩下教授（公共政策大学院）	2
	FinTech概論	前期	岩下教授（公共政策大学院）	2
	プログラミング演習（Excel VBA）	前期	小山田教授（全学共通科目）	2
	疫学Ⅰ（疫学入門）	前期前半	中山教授（医学研究科）	1
	文献評価法	前期後半	中山教授（医学研究科）	1
	科学技術イノベーション政策総合演習	夏期集中	川上教授ら（医学研究科）	2
	医療政策のELSI	後期	ベッカー教授（政策のための科学）	2
	応用経済学	後期	依田教授（経済学研究科）	2
	健康情報学Ⅰ	後期	中山教授（医学研究科）	2
	まちづくりとまち経営	後期	要藤教授（経営管理大学院）	2
	医薬政策・行政	後期前半	川上教授（医学研究科）	1
	医薬品の開発と評価	後期後半	川上教授（医学研究科）	1

講義① 現代社会と科学技術A

回	月日	講義タイトル	講義担当者
第1回	5/12	大学における学問とは？分野融合・越境のダイナミクス	宮野准教授
第2回	5/19	科学的方法について	小山田教授
第3回	5/26	現代社会の問題と政策のための科学的考え方	ベッカー教授
第4回	6/2	まちづくり・地域づくりとソーシャルキャピタル	要藤教授
第5回	6/9	科学技術・イノベーション政策等について	南准教授
第6回	6/16	10期生の研究課題発表会	参画教員
第7回	6/23	社会と科学の関わり方	田渕敬一氏
第8回	6/30	ビットコインにおける非中央集権の理想と現実	岩下教授
第9回	7/7	高騰する薬剤費と医療保険制度	間宮講師
第10回	7/14	医療の経済評価：その現状と課題	中山教授
第11回	7/21	研究プロジェクト中間発表	参画教員

講義② 現代社会と科学技術B

※ 入門必修科目（後期）：全ての受講生の履修が必要

回	月日	講義タイトル	講義担当者
第1回	10/6	健康福祉政策と情報の利活用	川上教授
第2回	10/13	データ可視化と政策立案	小山田教授
第3回	10/20	研究プロジェクト中間発表会	参画教員
第4回	10/27	クリティカルシンキングの観点からみた科学技術と社会	伊勢田准教授
第5回	11/10	価値の対立と合意形成	佐野教授
第6回	11/17	責任ある研究・イノベーションとは何か	平川教授 (大阪大学)
第7回	11/24	移植医療の社会的価値	瓜生原准教授 (同志社大学)

講義② 現代社会と科学技術入門(2)

回	月日	講義タイトル	講義担当者
第8回	12/1	森林の生態系サービスと政策	大手教授
第9回	12/8	持続可能性と人口減少社会のデザイン	広井教授
第10回	12/15	政策のための科学の計量書誌データ分析	依田教授
第11回	12/22	日本型直接支払い制度の政策評価とその方法	伊藤教授
第12回	1/5	医療費の増加と医療医療評価	後藤教授 (慶応大学)
第13回	1/13	質の評価：アートの視点から	富田名誉教授
第14回	1/20	振り返りワークショップ	宮野准教授

講義③ 科学技術コミュニケーション演習

➤ 目的

- 「政策のための科学」プログラムにおける研究プロジェクトを進めるうえで必要となる、問いの立て方、仮説検証に関する方法論、プレゼンテーションスキルの習得
- ディスカッションを通じた、研究に対する批判的考察能力の涵養

➤ 内容

前期	第1回	オリエンテーション・講義概要
	第2回～第3回	問いの立て方ー議題検討
	第4回～第7回	先行研究の収集方法、分析法、レビュー
後期	第8回～第11回	科学的政策分析の手法
	第12回～第15回	効果的なプレゼンテーション術

※ 講義の開講曜日・時限については、受講生と相談のうえ決定します
 教室については、開講曜日・時限の決定後に通知します

講義④ 科学技術イノベーション政策総合演習

- 日程：8月～9月の3日間
 - 場所：政策研究大学院大学（東京）、または、オンライン
 - 目的：当該分野の先端的な知見を得るとともに、様々な視点から検討する。問題分析や政策提言等のグループワークを通じて、得られた知識の応用力を高めるとともに、各拠点（政策大学院，東大，一橋大，九州大）の学生間の知的交流を促進する。
 - 内容：
 1. 「科学技術イノベーションと産業化:政策・規制・安全保障の視点から」と題し、科学技術イノベーションをある地域において産業として実現するための政策に焦点を当てる予定である。
 2. 講演と討議（海外研究者，行政機関担当者，関係機関実務者等）
 3. 学生による研究・活動計画の発表と討議
- ※ 阪大と事前WSを開催（阪大豊中キャンパス）

講義⑤ 研究プロジェクト

- 目的：公共的視点から科学技術と政策や社会とをつなぐ活動や成果物の作成を行うことにより，自らの専攻分野を生かしつつ，プログラムで学んだ知識やスキルを活用する能力を獲得する
- 内容：科学技術イノベーション政策に関連する具体的なトピックと方法論を用いて，「政策のための科学」に関連する個人研究，もしくは共同研究のプロジェクトを実施し，**小論文・研究レポート（日英可）を作成**する。それぞれの研究テーマや進捗に合わせ，プログラム関連教員による個別指導を中心に進める（内容に関しては、各自の専門の学位論文に関連したもので可）
- **プログラム2年目**に履修すること

日時	対象	内容
6月16日(木)	10期生	課題発表
7月21日(木)	9・10期生	中間報告会
10月20日(木)	9・10期生	中間報告会
12月3日(土)	9・10期生	京大・阪大合同発表会

講義⑥ 研究の進め方

- 社会課題の解決に向けて、科学的方法に基づいた**仮説検証型の研究の能力**が必要
- これまでの自分の分野での研究方法が、必ずしも他分野で通用するとは限らない
- 分野横断的な研究の基礎能力を学ぶ機会として以下の授業を開講

開講期	曜日	講義タイトル	担当者（登録取扱部局）
前期	火・5限	プログラミング演習	小山田教授（全学共通科目）
前期	不定期	政策のための研究方法論	ベッカー教授（医学研究科）
後期	不定期	可視化シミュレーション学	小山田教授（人間・環境学研究科）
通年	不定期	科学技術コミュニケーション演習	ベッカー教授（医学研究科）

通年・前期開講科目一覧

	月	火	水	木	金
1				現代社会と科学技術 A【1】	
2	履修を希望する科目を4月 より参加することを推奨		情報社会論【2】	FinTech概論【2】	
3			経済原論 I（応用ミ クロ経済学）【2】		疫学I(疫学入門)(前 期前半4限まで) 【1】
			共生社会環境論演習4A 【2】		
4	文献評価法(前期後 半)【1】				
	現代規範理論【2】				
5		プログラミング演習 (Excel VBA)【2】	デジタルガバメント 論【2】	ビッグデータ分析によ る問題解決実践【2】	

- ・「科学技術コミュニケーション演習」については受講生と相談の上、曜日時限を決定する
- ・「政策のための研究方法論」「科学技術コミュニケーション演習」については受講生と相談の上、曜日時限を決定する
- ・夏期集中：科学技術イノベーション政策特別演習、科学技術イノベーション政策総合演習

受講相談会

ホームページにプログラムの詳細に関する動画を公開していますので、視聴のうえで、受講相談会のお申込をお願いします

➤ オンライン受講相談会

複数の候補日を設けています
ホームページよりお申込み下さい

➤ 対面による受講相談会

4月11日（月）18:30-19:15
人間・環境学研究科棟433

➤ メールによる受講相談

stips_secretariat@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

ホームページへはQRコードから



<https://www.stips.kyoto-u.ac.jp/>